

中谷外科病院 勤務医負担軽減計画表

業務の役割分担

No.	現状・問題点	対応方針	具体的な計画
1	医師事務作業補助者が配置されていない。	医師事務作業補助者を配置する。	院長に医師事務作業補助者を配置し、書類の代行作成、カルテの代行入力等を行う。
2	超音波検査を医師が行っていた	臨床検査技師により超音波検査を実施する	医師の依頼に基づき、超音波検査を実施する。
3	医師の書類作成の件数が多く、負担になっている。	医師事務作業補助者を配置する。 事務で記入可能な箇所は、事務で記入する。	医師事務作業補助者を配置し、書類代行作成する。事務用に書類作成マニュアルを整備。
4	電子カルテ記載やオーダー入力に時間がかかる。	医師事務作業補助者を配置する。 セット化できるオーダーはボタンを押すと一括入力できるようにしたり、定型コメントを作成したりしてキー入力操作の軽減を図る。	医師事務作業補助者を配置し、カルテとオーダーリングの代行入力を行う。情報システム委員会にて電子カルテ、オーダーリングシステムの環境整備を推進していく。

中谷外科病院 勤務医負担軽減計画表

業務の役割分担

No.	現状・問題点	対応方針	具体的な計画
5	初診時、再診時の予診を外来看護師が実施している	受付が患者の予診を行うことで、医師及び看護師の業務負担の軽減を図る。	初診時、再診時の予診を事務で行う。
6	入院の説明を医師が行うと、他の患者の診察時間が遅れる	看護師が入院説明を行う	看護師が入院説明を行う
7	静脈採血等の実施を医師が行うと、他の患者の診察時間が遅れる	看護師が静脈採血を行う	看護師が静脈採血を行う
8	検査手順の説明を医師が行うと、他の患者の診察時間が遅れる	看護師が検査手順の説明を行う	看護師が検査手順の説明を行う

中谷外科病院 勤務医負担軽減計画表

業務の役割分担

No.	現状・問題点	対応方針	具体的な計画
9	病棟の薬剤業務を看護師が行い、服薬指導を医師が行っている	薬剤師が病棟の薬剤業務および服薬指導を行う	病棟での服薬指導、持参薬管理や病棟常備薬の薬剤管理を担うことにより、医師の負担の軽減を図る。